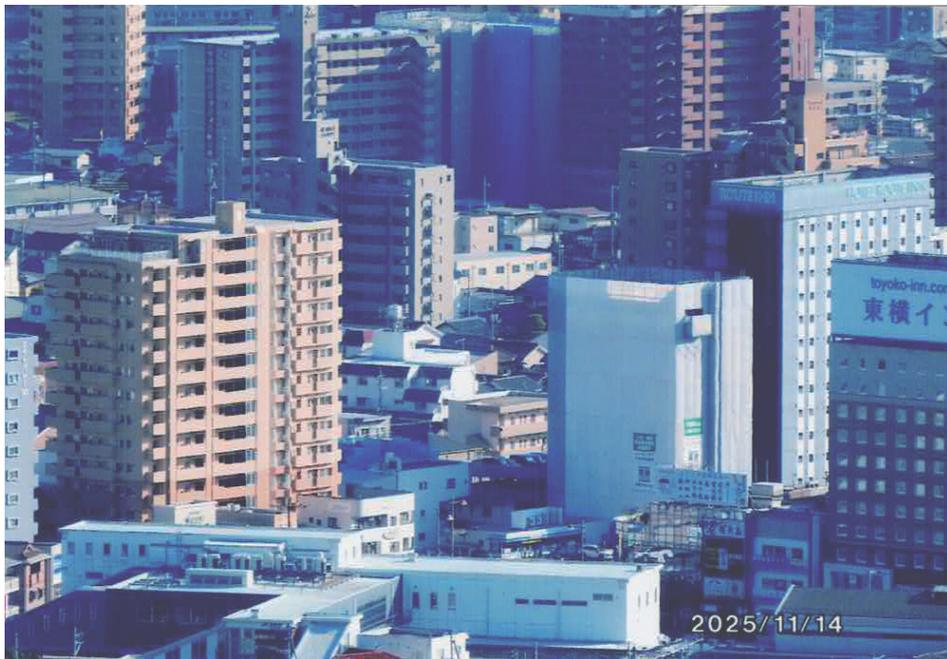


変貌する西条駅前



平成20年（2008）3月15日撮影



令和7年（2025）11月14日撮影

ブルバールが全線開通したのが平成14年(2002)です。上の写真は開通後6年を経過した西条駅前の風景です。画面中央には人や車が行き交う駅前特有の賑わいが写っています。

下の写真ではその賑わいの様子が見えなくなりました。平成27年(2015)西条駅が1階建てから2・3階建てになったことや周辺に15階建てのビルが建ったからです。下の写真には建設中のマンションが写っています。今後も西条駅前の変貌は続いていくことでしょう。

写真と文・船越雄治

## 新たな年を迎えて

会長 赤木 達男

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は当研究会の諸事業と会運営にご理解とご協力をいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

迎えました本年は丙午年、情熱と変化による発展・飛躍を象徴する年とされる一方、諸問題がより深化する年ともされています。こうした中、誰もが平穏でより豊かに過ごせ、持続的発展を遂げる未来を展望できる年にと願っています。

本年も、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 「新東広島市誕生20年」

#### ～安芸津で「史跡・文化財を見て歩く会」～

さて振り返ってみますと、一昨年、当研究会は「創立50周年」を迎え、皆さまのご協力のもと「県史協大会」開催と記念誌『50年の歩み』の刊行という二つの記念事業に取り組みました。

そして昨年、新たな東広島市が誕生した平成合併から20年を迎え、初めて新市域の安芸津町で第39回「東広島市の史跡・文化財を見て歩く会」を開催しました。安芸津町郷土史研究会をはじめ三津自治協議会、安芸津町商工会や事業所など多くの皆さまにご協力いただき、304名と近年にない参加をいただきました。

古くから内海航路の要衝として栄え、歴史と文化を育んできた三津。先進的な酒処として「酒都西条」を導いた広島杜氏のふる里での開催は、本市の歴史と文化に対する認知を広げました。

### 第53回「郷土史展」

#### 戦争と平和 ～被爆80年をへて～

昨年は「被爆80年」という大切な歴史的節目の年でもありました。戦後生まれが人口の90%余りを占め、被爆者の平均年齢が86歳を超え、戦場体験者（軍人恩給受給者）が僅か597人に減少する中で、戦争体験と被爆体験を継承し、戦争へと歩んだ歴史、戦地と内地で失われた尊い命について問い直すことが、ますます重要になっています。

とりわけ、身近（東広島）での戦争との関わりを通して“知り、思いを馳せ、自分事として捉える”ことは郷土史研究会の課題でもあります。

#### 1月例会のご案内

日 時 1月24日(土) 13:30～  
場 所 市役所北館 市民協働センター  
発 表 東広島市の銅像

船越雄治氏

同時に、見落としがちな先の戦争と、そこに至る間の中国大陸やアジア諸国への侵略、加害という歴史的事実を知ることの大切さです。それは、原爆慰霊碑に刻まれた「安らかに眠りください 過ちは繰り返しません」という「ヒロシマの誓い」につながります。

そうした思いから、第53回を迎えた「郷土史展」のテーマを「戦争と平和—被爆80年を経て—」として開催しました。

初めて真正面から挑んだテーマで、とても重く、手探りの企画・準備でしたが、今田実行委員長を中心にキノコ雲の日撃体験や戦時中の記憶、祖父母や父母などから聞いた話、残されている記録や写真などを持ち寄り、戦史や体験記などを紐解きながら準備を進めました。その過程一つ一つが、私たち自身の「学びの場」としての貴重な（追）体験でした。

今回の特筆すべきことは他にもあります。一つは、原爆が投下された広島市に救護に入った賀茂高等女学校（現賀茂高等学校）の救護活動の展示説明を賀茂高校生が担ってくださったこと。二つには東広島市教育文化振興事業団「学び推進本部」の皆さんと市議会議員の皆さんに参画いただいたことです。三つ目には、被爆者から直接お話を聞く機会が少なくなっている中、高校登校時に広島駅付近で被爆された宮川静登さん（96歳）を迎え開催した特別企画「被爆者が語る つなぐ記憶 つながる未来」です。企画と運営は「学び推進本部」の皆さんに担っていただきました。小中学生を交えた47名が講話とワークショップを通し、戦争と平和を自分事として考え、「何ができるか」について語り合いました。

### 多世代パワーで、“ホップ・ステップ・ジャンプ”

一昨年、昨年と大切な節目の年を経た本年、“ホップ・ステップ・ジャンプ”とまさしく丙午年にふさわしい“飛躍の年”にと願っています。

急激に変貌を遂げる経済・社会は私たちの生活様式を変化させ、社会意識や文化的欲求も多様化しています。こうした中で、諸先輩に築き育てていただいた郷土史研究会を次代につなぐための重要な時期にあります。

高齢化は当研究会でも例外なく進んでいますが、一昨年・昨年と2年連続で二桁の入会者を迎え、コロナ禍以降続いていた減少傾向に歯止めがかかりました。

現在120名の会員は、最年少の高校生会員から大学生会員と若い世代、数少ないとはいえ30～50歳代の比較的若い現役世代、60～70歳のベテラン現役世代、70～80歳代のベテラン世代で構成されています。

丙午年の本年、この多世代パワーによって郷

土史研究会の組織と活動が一層発展し、次代へと飛躍できる年にと念じています。

会員の皆さま、私どもに惜しみのないご支援ご協力をお寄せくださっている皆さまの、ご健勝とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 12月例会報告

12月例会は12月19日(金)10:30～、ホテルヴァンコーネル4F白竜湖にて行われ、23名が参加した。

この日の例会発表は、赤木達男氏による「昭和を生きた父～昭和史の検証」。予科練習生を経て特攻隊員となった赤木氏の父の半生を起点にしながら、予科練の制度や特攻作戦の生々しい背景を詳細に紹介した。

赤木氏は発表の中で、特攻を讃える世相や志願を半ば強制していた軍の実態に迫り、戦争責任は国民全体の無自覚や無反省にもあったのではないかと提言。昨今の「3だけ主義(今だけ、金だけ、自分だけ)」に対して警鐘を鳴らした。

戦後、心を病んだ父に対し赤木氏は、「子どもの頃は恨んだこともあったが、広島に来て被爆者の方などと触れ平和を考えるうちに、父も戦争の被害者であったのだと慮れるようになった。今は『戦間期』とも『新たな戦前』ともいわれる。本当の戦後、平和にはまだ遠い」と発表を締めくくった。

令和7年度忘年の会では、今田副会長が乾杯の音頭を取り、会員同士1年の活動を振り返りながら会食した。メニューには東広島市が普及を進める「東広島こい地鶏」を中心に、豪華なメニューが並んだ。

食後は近藤英治氏の三線に合わせ、NHKの朝ドラ主題歌「笑ったり転んだり」を全員で合唱。また、船越雄治氏による郷土史展や臨地研修の写真を見ながら、一年の活動を振り返った。

## 新春登山のお知らせ

日 時 1月9日(金) 9:30～  
場 所 七社神社、平賀氏墓地、仙石庭園  
集合場所 仙石庭園駐車場  
(高屋町高屋堀1589-7)

※終了後仙石庭園にて新年互例会を行います。  
申込みは福村さん080-2912-6741まで

## 第11回昔の道探訪会・三景園 広島空港と広島中央森林公園の歴史

吉田 泰義

### 1、まえがき

昭和47年(1972)基本調査開始。

昭和57年(1982)基本調査結果が公表されて、既存空港の沖出し案(広島市)、洞山案(東広島市、竹原市、豊田郡安芸津町)、用倉案(豊田郡本郷町)の3案が併記された。

昭和58年(1983)豊田郡本郷町の用倉地区に決定。

昭和63年(1988)新空港起工式。

平成5年(1993)新空港供給開始。

広島県立中央公園も広島空港と共に整備された。国際規格のサイクリングコースや日本庭園「三景園」・飛行機の離着陸を見ることが出来る公園・用倉山などが整えられ、空港一帯は家族連れの観光客も多く四季折々楽しめます。



潮見亭や太鼓橋

### 2、三景園マップよりご案内

この庭園は、広島空港の開港を記念して平成5年(1993)に造られた面積約6ヘクタールの築山池泉回遊式庭園です。

広島県は中国山地の南面に位置し、起伏に富んでおり、豊かな森林を背景に、数多くの溪谷があります。その谷間には、懐かしさを覚える山里が点在し、さらに海岸部には、宮島に代表される瀬戸内海の景勝地があります。

これらの風景を、日本庭園の手法を用いて、庭園化したものがこの庭園です。

この庭園は、三つのゾーンから出来ています。一つは、自然林を生かした山のゾーン、そこから高低差14メートルの滝「三段の滝」。次いで、里のゾーンには、竹林、梅林、ため池(里の池)、もみじ谷を配し、山里をイメージしました。もう一つの海のゾーンは、大海と中島群、橋、それに数寄屋風水上建築の庭園事務所(潮見亭)を配置しています。これは宮島を連想した施設

で、大海は、瀬戸内海を表わしたものです。このことから名称は山・里・海の三つの風景にちなんで「三景園」と名づけました。

この庭園の特徴は、約10,000トンにも及ぶ広島県内産の自然石と空港工事が出た石を使っていることで、雄大な“庭園景観”を造っています。また植栽に用いた樹木は「山取り」といわれる造園の手法で、自然林から直接移植しました。「三景園」は広島の空の玄関にふさわしい名園といえるでしょう。

### 3、三景園の主なイベント

- ・春まつり 2月～4月 ウメ・シダレザクラ・ツツジなどが楽しめます。
- ・花まつり 6月～7月 庭園が100種1万株のアジサイでいっぱいになります。
- ・もみじまつり 11月 庭園が美しく紅葉や黄葉に彩られます。

### 4、月漕亭での「篠笛」



昔の道探訪会の実施は奇数月の第2もしくは第4水曜日で、時間は概ね4時間です。参加申し込みは吉田泰義または大森美寿枝まで。探訪地の希望もお待ちしております。

## 第11回東広島市郷土史研究会連絡協議会 臨地研修会の報告

福村 博士

これまで市内で活動している、東広島郷土史研究会をはじめ、豊栄、河内、福富、黒瀬、安芸津の6団体で構成する東広島市郷土史研究会連絡協議会が持ち回りで臨地研修会をすることになりました。第11回の協議会でこの度初めて豊栄郷土史研究会主催で臨地研修会をすることになりました。

- ・日時：令和7年11月27日(木) 13時～17時
- ・場所：豊栄町乃美地域センター研修室
- ・参加者：東広島郷土史研究会（赤木会長、福村副会長、國松事務局長、三嶋理事、進藤理事）・豊栄（岡谷会長、為平センター長）・福富（渡辺会長）・河内（宮本会長）・黒瀬（貫

目会長）・安芸津（矢原会長、秋光氏）・東広島市豊栄支所長 合計15名

赤木協議会会長より臨地研修会を開催頂いたことへ謝辞のあと、豊栄郷土史研究会の岡谷会長より開催のご挨拶。

本日のスケジュールについては為平センター長さんから説明があった後、為平センター長さん生涯の研究テーマ「乃美の大方」と毛利元就系図を別紙資料にて詳しく説明をうけました。戦国時代では女性に関する資料が少ない中、山口県へも調査に行かれての熱意ある講話に一同が感銘をうけました。

その後は、地域センターに隣接する生きた化石と言われる「特別天然記念物」であるオオサンショウウオの保護施設へ移動。市と広島大学、地域の皆さんが連携して、傷ついた個体の一時保護活動をされています。この世界最大級の両生類の寿命は何と、50年以上と聞きビックリ！今後もこの活動を継続していただきたいと思います。

3番目の臨地は、板鍋山の頂上（標高757m）駐車場まで車で移動。キツイ斜面を徒歩で頂上の展望台へ登頂し360度の眺望に一同“感嘆”の声！晩秋の景色にしばしうっとり。



山頂の展望台にて茶臼山城跡をバックに

日が落ち風が出始め、最後は乃美にある豊栄町で最大の神社「本宮八幡神社」へ参拝、神社では佐伯宮司さんから詳しく神社の説明を受けました。

ご祭神は「宗像三女神、誉田別命（応神天応）他3神」、現在は合祀されて乃美・別府・鍛冶屋の3ヶ村の氏神、創建は東広島市内でも最古の平安時代といわれています。

境内には広島県天然記念物のヒノキ、スギなど自然林があり、本殿と拝殿は東広島市の重要文化財です。また神社では大変珍しく県重要文化財である県内最古の「大般若経」が600巻も

残っているとか。神社の歴史を学ぶことができました。



この度の臨地研修会では、豊栄郷土史研究会の岡谷会長さん、為平センター長さん、佐伯宮司さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。

## くずし字を古典で学ぶ 第1回

浮田 一民

くずし字を原文で読めたら、楽しいと思いませんか。

くずし字はけっして難しいものではありません。その証拠に落語などでお馴染みの「熊さん・はつつあん」や「弥次さん・喜多さん」でさえ、くずし字を読んでいたのです。

皆さんも「熊さん・はつつあん」や「弥次さん・喜多さん」に負けないよう、くずし字を読んでみようではありませんか。

と言うことで、今月から古典を題材にして「くずし字」の面白さをお届けします。

次の写真のAとBの文字を比べてみてください。Aの画像は、色紙に書かれた夏目漱石の直筆俳句です。Bは明朝体の活字文字です。内容は同じです。

もし、家に飾るとしたらどちらを飾りたいですか？

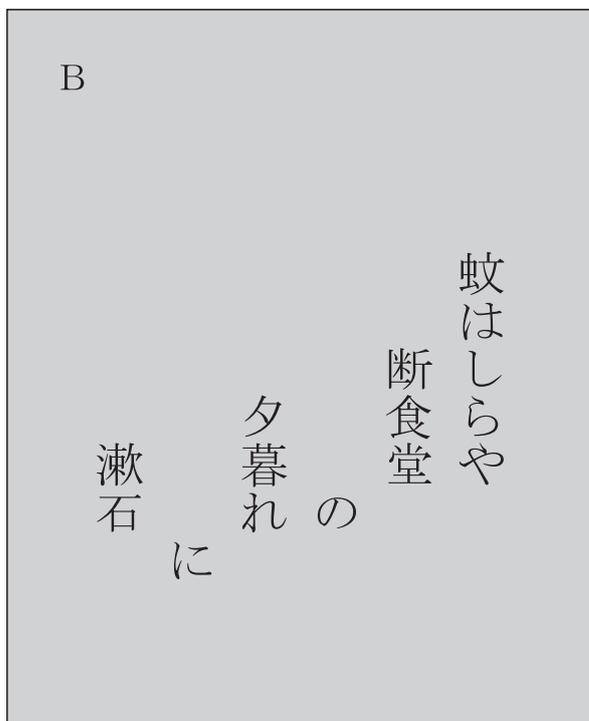
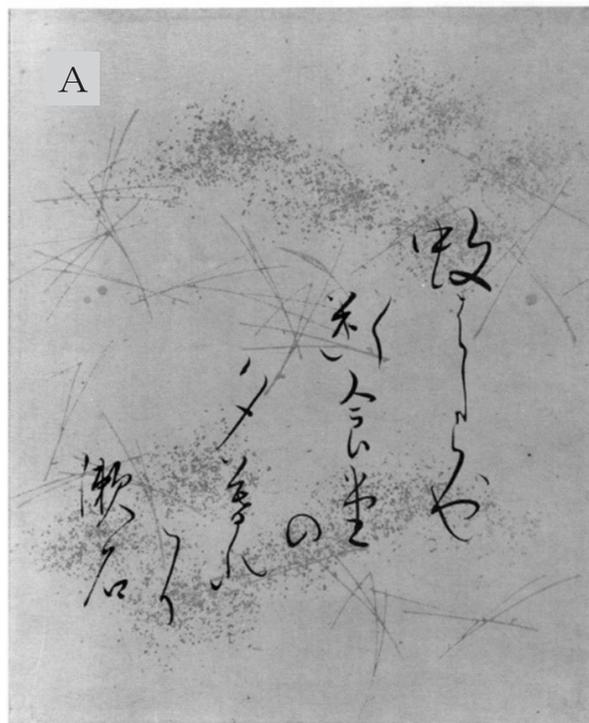
同じ内容であっても、Aのくずし字の文字に芸術性を感じませんか。

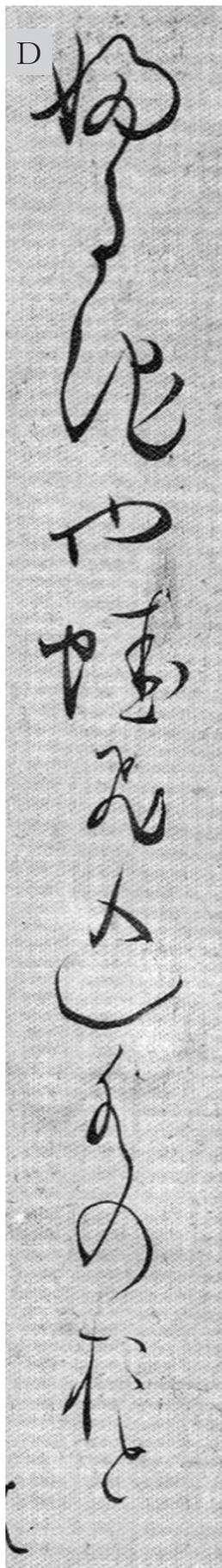
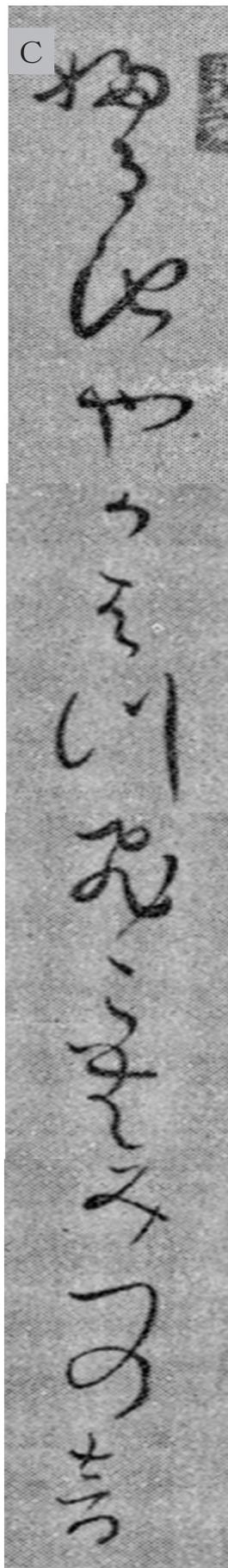
活字の文字は、機械的で寂しく感情がありません。そして、誰が書いても同じ字です。

一方、自筆の文字には、温かみがあり個性が感じられます。見ているだけで心が和みます。

また、古典では余白の美しさや文字の並びの美しさも鑑賞の見所です。それに、何よりもオリジナリティです。自分で創作した文章を自分の文字で書く。しかも他の人に読んでもらうことが前提です。この点が現代書道との決定的な差です。

現代書道は、他人が創作した文章を利用して、展覧会等に入選することを目的として書きます。しかも他の人に読んでもらうことは考えていません。また、書道家がくずし字の元字を知らないことです。ただ真似をしているだけです。これでは見ても読めませんし、感動はありません。





さっそくですが、写真CとDを見てください。CとDそれぞれの文字数を数えてみてください。皆さんは何文字あると思いますか。答えはCが14文字、Dが11文字です。

数は違いますが、文章は同じです。

では、CとDそれぞれに使われている漢字の数を数えてください。答えはCが3文字、Dが5文字です。

え～！、ちょっとおかしいよ。

と思われた方は正常です。真面目に戦後の活字教育を学んだ証拠です。

でも、時代は江戸時代。現代の常識からはちょっとハズレてください。

江戸時代は「万葉かな」が真っ盛りです。「万葉かな」とは、「漢字」を「ひらかな」として読むことです。

左の写真C、Dでは、第1字目ともに「婦」という漢字が使われていますが、読み方は「ふ」です。この使い方が「万葉かな」です。

C、Dの3文字目は「池」という漢字です。読み方は「いけ」です。漢字本来の使い方です。この「万葉かな」と「漢字」を草書体にくずした文字が「くずし字」なのです。

では、C、Dをくずし字ではなく、書いてある通りの文字にすると、

Cは、婦る池や可者川飛こ無みつの音

Dは、婦る池や蛙飛込水の於と

になります。

松尾芭蕉の有名な句

古池やかわず飛び込む水の音

です。活字にすると全く味わいがありません。

C、Dともに松尾芭蕉の直筆です。

次回から、文字の解説を行いながら、くずし字への変化を説明します。

## 安芸津・お旅所の絵馬 1

今田 幸博

ニュース612号から615号で紹介した榊山八幡神社と関係のある、JR安芸津駅前にある「お旅所」にも絵馬が奉納されているので紹介します。

お旅所は、毎年7月に開催される市重要無形民俗文化財「三津祇園祭り」の出发点で、ここから約4km先にある素鷲（そが）神社まで、練り歩く大名行列で知られています。

現在、当所には7面の絵馬が現存していますが、すべて明治時代に奉納されたものです。室内に懸げられているため保存状態は良好です。

機会がありましたら、是非ご覧になってください。

お旅所



### ■ 1. 天の岩戸図(あまのいわとず)



縦：93.0cm×横：164.0cm

天岩戸伝説は、日本神話としてあまりにも有名です。

あらすじは、太陽神の天照大神が、弟の素戔嗚尊のひどいいたずらに怒り、天岩戸にお隠れになったので世の中が真っ暗になり、困り果てた八百万の神々は天安河原の前に集まり、天照大神に天岩戸から出て来てきてもらう相談を重ねた結果、天岩戸の前で荘重な儀式の後、芸能の女神である天鈿女命(あめのうずめのみこと)が面白おかしく舞い踊ると、その様子を耳にした天照大神が何事かと天岩戸の扉を少し開けた時、天手力男命(あめのたちからおのみこと)が扉を一気に開け天照大神に出てもらったので再び光が戻ったというものです。

画は、中央に後光が差す天照大神を描き、その左側に舞い踊る天鈿女命を右側には天岩戸の扉を開ける天手力男命を描く、そして手前には夜明け頃鳴くので時告鳥とも呼ばれる鶏を、周囲にはその様子を見る神々や囃子を奏でる神々を描いています。

明治39年(1906)丙午4月上旬に、林喜一郎、橋本善作、光本政一、松尾芳一が奉納。

### ■ 2. 不明図



縦：97.8cm×横：123.5cm

一部分が破損しており、画題は不明ですが、鎧武者と若姫が描かれたガラス絵です。

額内の右下に、装飾のある鉄板が嵌め込まれておりその中に、奉納年月日・奉納者が記されています。

「明治二十又三年三月□□」と記されており、明治23年(1890)3月□□に、山一傳□□、馬木松次郎、松本和作、丸井勇助、行友恭平、今田鶴吉、行友□次郎、佐藤久次郎、久坂八郎、石田幾松、河田喜造が奉納。

追記：関係者の話によると、破損していなければ文化財に指定される価値があると専門家が鑑定したそうです。

#### 【言葉の解説】

\*ガラス絵(がらすえ・硝子絵)：透明で平板なガラス片の片面に、膠(にかわ)、ワニス、油を媒材とした絵具で、人物や風景を描き、その裏から鑑賞する絵画。

### ■ 3. 神功皇后(じんぐうこうごう)と 武内宿禰図(たけのうちのすくねず)



縦：71.4cm×横：99.4cm

絵馬の画題としてよく描かれています。

神功皇后は第14代仲哀天皇の妃で、天皇の熊

襲征伐に随伴、天皇崩御に催しその意思を継ぎ熊襲征伐を達成、続いて海を越えて新羅に攻め込み百済、高麗も服属させる（三韓征伐）。神功皇后は新羅出兵の際、身ごもっていたが筑紫に凱旋後に出産（のちの第15代応神天皇）したと伝わる。

武内宿禰は、記紀に伝わる古代日本の人物で、景行（12代）、成務（13代）、仲哀（14代）、応神（15代）、仁徳（16代）天皇に仕えたという伝説上の忠臣です。

画は、武人姿の神功皇后と子供（応神天皇）を抱く武内宿禰を描いています。

明治30年（1897）丁酉4月吉日に、真木六七八、山下利一、脇阪小一、道免助一、梶田彌三八、住井熊一が奉納。

#### 第40回東広島の史跡・文化財を見て歩く会 実行委員会開催のお知らせ

来年度の開催に向け、下記の通り実行委員会を開催いたします。毎年恒例の行事ですが、来年度は第40回という節目の年です。大いに盛り上がるよう、ぜひ皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

第2回実行委員会 1月19日（月）

10：00～ 三ツ城地域センター

第3回実行委員会 2月2日（月）

14：00～ 市役所北館市民協働センター

第4回実行委員会 2月20日（金）

13：30～ 市役所北館市民協働センター

第5回実行委員会 3月2日（月）

13：30～ 市役所北館市民協働センター

第6回実行委員会 3月16日（月）

13：30～ 市役所北館市民協働センター

第7回実行委員会 3月30日（月）

13：30～ 市役所北館市民協働センター

第8回実行委員会 4月11日（土）

13：30～ 市役所北館市民協働センター

※[午前]総会開催

#### 【新規会員募集中】

活動が気になる方は、下記QRコードから覗いてみてください。



Instagram



HP



Facebook

#### 《新規会員紹介》

中村 泰朗さん（西条町）

山岡 優太さん（西条町）

#### グループ研究会ご案内

##### 第303回 古文書研究会

と き 1月13日（火）13:30～

と ころ 市役所北館 市民協働センター

テキスト 国郡志御用=付下弾帳賀茂郡冠村⑥

##### 第200回 石造物研究会

と き 1月27日（火）13：30～

と ころ 市役所北館 市民協働センター

内 容 第4回石造物探訪会（竹林寺）資料検討

##### 第200回 四日市町並研究会

と き 1月14日（水）13:30～

と ころ 西条本町歴史広場 小島屋土蔵

内 容 昭和の西条町商店街の歴史

##### 昔の道探訪会（旧山城探訪会）

と き 1月28日（水）9:00～

と ころ 高屋町白市 白市観光駐車場

内 容 新春の集い

##### 原爆資料保存研究会

と き 1月22日（木）14:30～

と ころ 東広島市市民文化センター サンスクエア  
2階 東広島市原爆被爆資料展示室

内 容 2026年の事業について

##### 1月の図書室開放

と き 1月16日（金）13:00～15:00

と ころ 高屋教育集会所

#### ひがしひろしま郷土史研究会ニュース 第617号

令和8年（2026）1月5日発行

編集・発行 東広島郷土史研究会

会 長 赤木達男

事務局長 國松宏史

会報編集 進藤真由美